

妹背牛町

一般不妊治療費助成事業

妹背牛町では、不妊治療のうち、体外受精・顕微授精にかかる治療費を助成する特定不妊治療費助成事業をＨ２５年度より実施しておりますが、Ｈ２７年４月１日より特定不妊治療以外の一般不妊治療費の助成も開始いたします。

対象となるご夫婦、助成金額、手続きの流れ等は次のとおりです。

　次のすべての要件にあてはまるご夫婦です。

1. 妹背牛町に居住し、住所を有するご夫婦(法律上の婚姻)
2. 公的健康保険に加入している（国保、社保、共済等）
3. ご夫婦ともに公租公課の滞納がない(税金や税金以外の町に収める料金等)

　一般不妊治療に要した費用(本人負担額)【＝Ａ】の２分の１

1年度の助成額の上限は10万円です。

(治療した回数に関わらず1年度に要した治療を1回とします。)

※「１年度」とは、４月１日から翌年の３月３１日までの期間です。

　治療回数に関わらず年1回、通算３年間助成します。

年間治療分をまとめて年度末に申請ください。ただし、治療が終了した場合や自己負担額が２０万円を超えた場合は随時申請できます。

助成の対象となるご夫婦

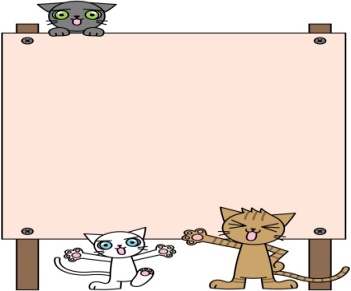
助成金額

【１年度の助成額】

　　Ａ　×　１/２＝助成額（ただし1,000円未満は切り捨て）

助成回数

対象となる治療



1. 医療保険適用の不妊治療

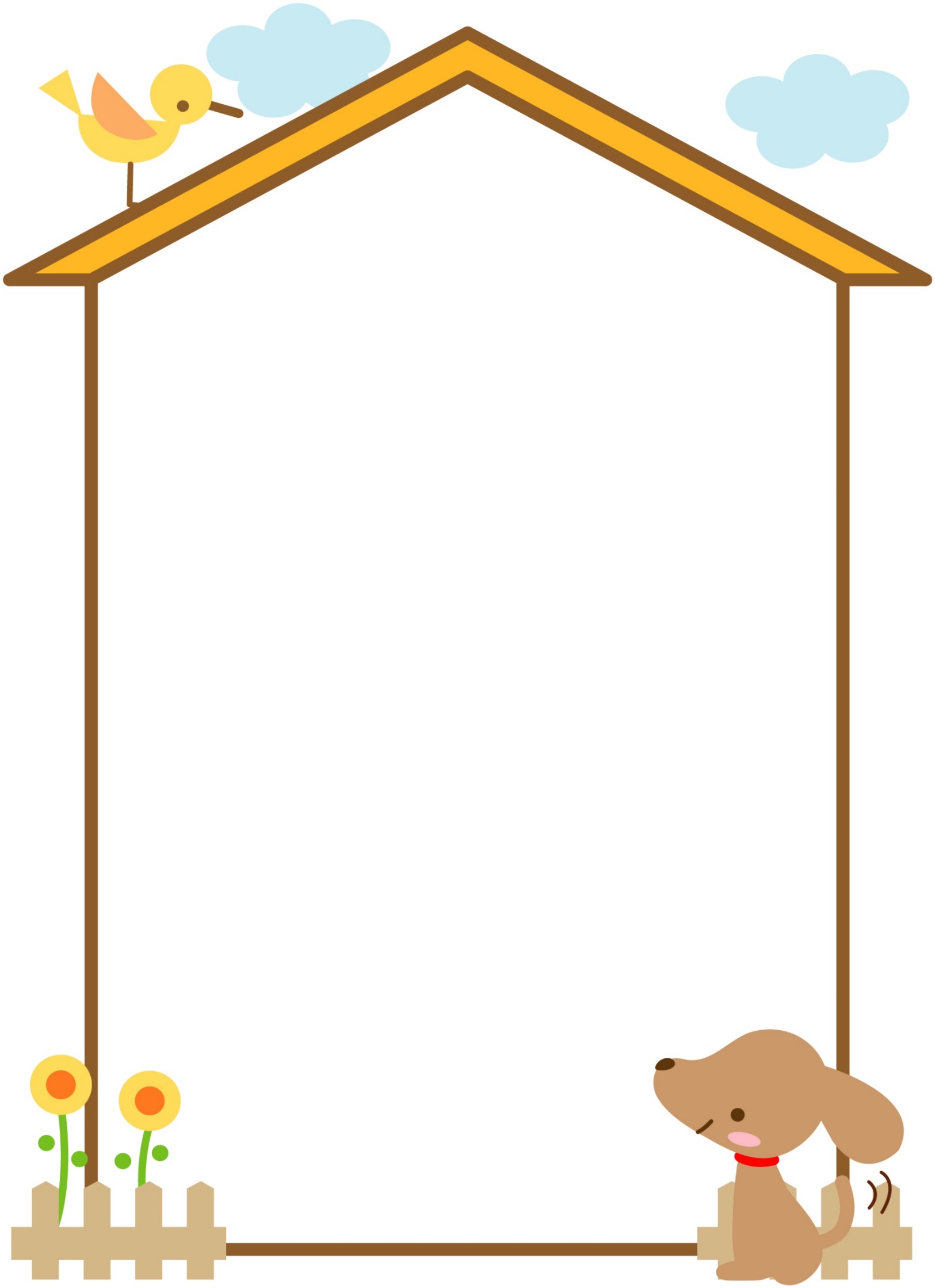
(タイミング法・排卵誘発剤等の

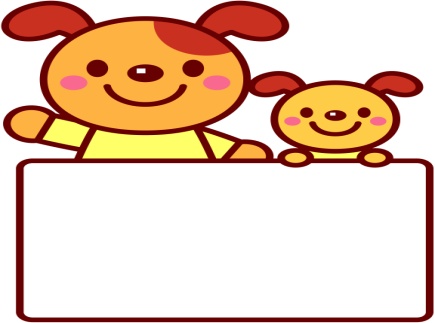
薬物療法など)

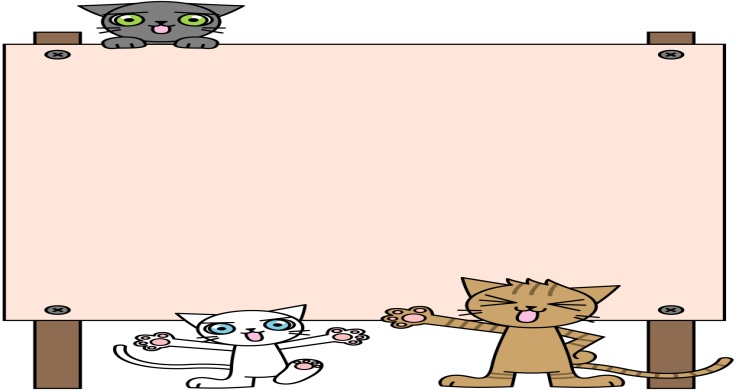
1. 医療保険適用外の人工授精

　　　など

手続きの方法は裏面をご覧ください







○一般不妊治療に引き続き特定不妊治療を継続し、申請することも可能です。

○特定不妊治療費の助成については、町保健センターまたは、

深川保健所(☎　22-1421)にお問い合わせください。

その他

助成手続き

**受診証明書(町の様式)への記載を依頼**

**１年度分(4月～翌年3月分)を合算した治療費を申請**

手続きの流れ

町への申請に必要な書類

**ご希望により保健師がご自宅に訪問し、受付することもできます。お気軽にご相談下さい**

助成の申請は

保健センターへ

へ

**１年度の治療費の１/２を助成。**

**10万円限度**

**町からの助成決定**

**町(保健センター)**

**へ申請**

**医療機関での不妊治療**

**(タイミング法・薬物療法**

**人工授精等)**

①  妹背牛町一般不妊治療費助成事業**申請書**

②  **受診等証明書**(医療機関に記載してもらう証明書)

③  治療に係る**領収書及び明細書**

※  ①、②は妹背牛町の様式が必要です。事前にお問い合わせください。

【お問い合わせ】

妹背牛町保健センター

☎　３２－２４１１（内線193）